

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期のケアの経験が無いことで、今後終末期のケアを御家族が希望され時に不安無くサービスを実施できるかが課題である。	終末期にある入居者に対して各専門スタッフ、医療機関、御家族で連携し安楽で穏やかな終末を迎えられるよう体制を整える。利用者、家族の真の意向を聞く。	・施設内で終末期ケアについての研修を行い、終末期ケアを理解し、当施設でマニュアルを作成する。掛かりつけ医、協力医に対する協力体制を整える。	6ヶ月
2	35	避難訓練を実施しているが、職員、家族、地域の方などの災害時の具体的な役割分担等が振り分けられていない。また、訓練時に各自役割りに対する訓練が不十分である。	避難の際に混乱せずに各自役割りの元、利用者の安全確保を優先した対応が冷静に行える。また、被害を最小限に食い止めることができる。	避難時の職員、家族、地域の方の動きを役割分担しマニュアル化し、マニュアルに沿った訓練を実施していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。